

10月23日（土）に12200系を撮影し、吉野山を散策した時の備忘です。  
（メインは近鉄特急に乗車）

最近の名古屋詣？だが、9月の三度の日帰り、10月の今回の一泊二日、どちらもチケットの類は駅の券売機で受け取りになった。前者はデジタルクーポンがあったが、そもそも使う時間も少なく使う気はさらさらなかった。後者はクーポン相当は何もなかった。今回の一泊二日の名古屋行き、東海道新幹線の乗車券と特急券こそ発券されたが、宿については何も発券されず、宿泊先に関しては予約のメールに記載があったがホテルのフロントで、宿泊を口頭で告げるだけという内容だった。あと今回は今までと異なり東京駅でチケット類を受け取る事になったので当日受け取りにした。分かりやすく言えばチケット受け取りのためだけで東京駅までの往復の運賃が、時間が勿体なかった。

今回、一泊二日を選択したのは、日帰りのツアーが思いの外高く、乗車する列車の時間帯によっては、まともに自由席で往復するのと大して変わらないのだ。なんのためのツアー（団体割引適用）なのか疑問符が付いた。一泊二日にしても正規の、自由席で東海道新幹線を東京・名古屋間で往復しても殆ど同じだったので一泊二日を選択した。分かりやすく言えば宿泊代がペイできる。ただし、事情で20時までは東京にいないといけない。遅い時間帯の東海道新幹線に乗車し、名古屋で宿泊して翌朝早めの時間帯から行動する形を取る事にした。

20時過ぎに自宅を出て東京駅に向かう。東京駅でのJR東海のチケット受け取り機は今回初めて使った。受け取り機も複数あり、並んでいる人もいなかった。あと想像だが、東海道新幹線の東京駅でチケット受け取り機を使う人は慣れている人が多いのではないかと。出張でしょっちゅう使う人とか。余裕もって出掛けなくても良かったが、ま、最初なんで仕方ない。ただ、思い出すにこれが平日の金曜日だったから良かったのかもしれない。お休みの日の朝だと混雑で受け取りに大変だったかもしれない。なお、乗車する列車は21時21分に出発なので余裕ができた。

東海道・山陽新幹線は「のぞみ473号・新大阪行き」だった。この列車は臨時だったのかもしれない。後日、駅探で調べたところ、この列車は運転する日と運転しない日がある。新大阪行きはこの列車の次が最終列車になる。混んではいないがまあまあ乗っていると思った。予約した時のシートマップからもっと混んでるかと思ったが、幸いにも新横浜出発時点で3人掛けの席で自分しか座っていなかった。これは

ラッキーだった。東京を21時21分に出発し名古屋には22時54分に到着する。乗車中はアバターのゲームでトークをしていたおかげ？で夜の列車だったが退屈しなかった。

東海道新幹線は名古屋まで乗車したが乗車券が名古屋までのため一度改札外に出る。連絡通路を通過して在来線の方には行けないと判断した。近鉄特急の特急券は窓口隣の特急券自動券売機で座席をシートマップから選択して購入。実は一度、最終となる、23時10分発の特急列車に乗車してみたかったのだ。どんな様子なんだろうか。地元の小田急線だと最終電車は一般形車両だが、近鉄名古屋線の場合、最終の特急列車（車両）に乗らないと当日中に到着できない駅が、到達できない所が、ある。ちなみに乗車券は、今回は「近鉄週末フリーパス」でなくて「近鉄全線3日間フリーきっぷ」を使ったが、既に通信販売で事前に入手しており、窓口での引き換えは不要だった。

これから乗車する23時10分発の津行き9313特急列車は3割くらいの席が埋まっていた。意外にも乗客は多い印象だ。22000系の5番編成だった。出発間際はYouTubeでお見かけしたギリギリ乗車の人を案内していた。22000系は5番編成だけでなく15番編成にも何度か乗車したが、座席周りと比較して洗面所が早くに痛みが進行している感じがした。この津行き9313特急列車は近鉄四日市駅の隣の「新正」から「白塚」までと「江戸橋」から「伊勢中川」の最終列車なのだ。残念ながら「江戸橋」手前の「高田本山」には救済されないと言うか到達できない。

「新正」から「白塚」は近鉄四日市で普通列車の白塚行きに乗り換え

「江戸橋」は白子で急行列車の津新町行きに乗り換え

「津新町」は津で普通列車の伊勢中川行きに乗り換え

白子で急行列車の津新町行きに乗り換え

津で急行列車の津新町行きに乗り換え

「南が丘」から「伊勢中川」は津で普通列車の伊勢中川行きに乗り換え

なお、「新正」から「白塚」の間にある、特急停車駅の「白子」はこの特急の方が早く着く。が、ここで面白いオチがあって9313特急列車にそのまま乗れば早くに「白子」到着するが近鉄名古屋からの特急料金が920円。逆に9313特急列車を「近鉄四日市」まで乗車し、「近鉄四日市」で最終の普通列車である「白塚」行きに乗車すると、「白子」到着は遅くなるが近鉄名古屋からの特急料金は近鉄四日市までなので

520円で済む。400円余計に出して早くに到着するか、余計な出費は抑えて遅くに到着するか。。。

桑名で下車し9313特急列車の出発を見てから一旦改札外に出て特急券を購入しようとする。なんと特急券自動券売機が全て閉まっており窓口も係員が一時不在の様子。仕方ないので近鉄名古屋方面のホームの特急券自動券売機で購入した。座席は選択できなかった。定刻の23時35分に近鉄名古屋行き121特急列車アーバンライナーがやって来る。1から2割位の乗車率だろうか。数名弱が下車する。これから乗ろうとする目の前の車両のドアでは自分以外に若い女性が1人乗車した。この特急列車こそ今回誰が乗っているのだろうかという興味があった列車だ。地元の小田急線では、夜遅くに逆方向と言って良いのか新宿方向に乘る需要はどちらかと少ないのではないかと思われるが、新宿23時28分着が最終だし22時5分以降に新宿に到着するのは3本。これに対して21時55分以降に近鉄名古屋に到着するのは6本ある。名阪と言う二大都市を結んでいる近鉄と、新宿だけを考えれば良い小田急と、比較して近鉄は多めの特急列車を運行しているのだろうか。

この特急列車は三重県の県庁所在地である津、三重県の最大の自治体である四日市、にも停車している事から特急列車停車駅間の短区間利用でも使われている様子だ。意外と乗っていたので安堵したのかも。回送みたいに空いていたなら逆にショックだったかもしれない。

近鉄名古屋には23時52分に到着。東海道・山陽新幹線連絡通路は閉鎖されていた。降車客はバラけていく。ま、JR東海の在来線も名鉄線もまだ列車があるので。。。宿へは地下道が閉鎖されていたので横断歩道を渡るために少し遠回りした。宿の周りは多少の繁華街？の様子で飲み食いしている人も多かった。宿では自分の前に三人が受付に並んでいてたまたまタイミングが悪かったか？それとも0時以降は割安になるとか？フロントの方はお待たせしたと言ってくれたが。及第点の設備であるこの宿は再度選択したいと思う。自分のミスとして早く寝たかったというのはあるが寒いのに暖房を入れ忘れた。風邪を引かなくて良かった。

翌朝は6時に起きて駅に向かう。名鉄名古屋駅までは標識の通り上手くいったが近鉄名古屋駅の標識が目立たなくて一度逆方向に歩こうとした。今朝は既に定期運行が終了した12200系の貸切列車があるので、近鉄名古屋駅構内にはもっと鉄がいるかと思ったが、、、知り合いに聞いた中央線での301系最終列車の混雑を聞く

と、、、中京圏は鉄が集まらないのか、それとも、ホントの最終運行日は凄い事になるのだろうか。あと、時刻表を見ると、今回の様に名古屋に宿泊すると5時58分発の特急大阪方面行き（週末は難波行き、平日は上本町行き）アーバンライナーに乗れるのか。。。これは1日を有効に使いそうだ。賢島方面は6時50分発の特急賢島行きが最初の列車だろうか。

（自宅で調べたところ難波、上本町へはアーバンライナーが先着し、賢島へは5時30分に近鉄名古屋を出る特急料金不要の列車が一番早く到着する。）

例によって近鉄名古屋駅における特急列車の発車メロディを動画撮影として記録する。6時50分発の賢島行き特急は肉声の案内放送と被らない。7時10分発の自分が乗車する賢島行き特急は肉声の案内放送と被る。

自分が乗車したのは7時10分発の賢島行き6715特急列車で22000系だ。5番編成だった。昨晚乗った編成であり、津方面から折り返してきたのだろうか。本日の土曜日の朝の特急列車を調べたら、送り込みとなる。この賢島行きが4番ホームから出発した後に4番ホームに12200系の貸切列車が入るようだ。出発間近だが鉄が更に大挙してくる様子はない。結果論だが近鉄名古屋駅で撮影しても良かった。繰り返しになるが貸切列車の乗客と撮り鉄のゲキ混みを予想していたのだ。

乗車した6715特急列車が近鉄名古屋駅を出発し、近鉄名古屋駅の隣の米野駅で、これから貸切列車に充当される12200系を見つけたが、これは上本町側が51番編成、近鉄名古屋側は34番編成か39番編成の8両編成だった。これをこれから向かう所で撮影する。目的地に向かう途中は駅だけでなく至る所で撮り鉄を見かけた。その中でも伊勢朝日駅南側の高速道路が近鉄名古屋線とクロスする手前の狭いスペースに固まる感じで撮り鉄が集まっていた。ここが一番多かった。他はいてもバラける感じだった。ここで撮影（伊勢朝日駅南側）しても皆同じような写真になり面白くないんじゃないと思う。急ぎよだろうか短区間で6715特急列車に乗車した人が2、3名いたが皆デッキにいる。車掌さんから特急券を購入していたが、車内に入っても問題ないと思うのだが、、、空いた席なら座っても良いはず。しかも22000系は座席の上のランプで空いているか否かが分かるのだから。ちなみ前回の、伊勢市から大和八木までの22000系の乗車と同じく車内の自動販売機で缶コーヒーを購入。

6715特急列車は津に7時59分着。津で下車し、後続の8時04分発の伊勢中川行き普通列車に乗車した。津駅では電光掲示板に、この普通列車の次の列車が「貸

切」となっている。一応は停車するのかな？白子から6715特急列車に乗車した女性が自分と同じ普通列車に乗車し津新町で下車する。時間を買ったのだろう。

乗車した伊勢中川行き普通列車は桃園に8時14分に到着。出発前に太陽光線と線路の位置関係から桃園駅での撮影を考えていた。桃園駅と伊勢中川駅の間も有名撮影地になっているので、ま、桃園駅での撮影もそんなに悪くはないだろうと思った。それにしても今まで列車走行中の動画は撮影した事が無かった。しかも12200系の8両編成が対象という事で少し緊張した。

(12200系の8両編成は今までいくらでも見られたのだが、自分が中京圏に度々訪問するようになってからは喫煙車の廃止と喫煙ルームの設置が始まったところで12200系のみ編成は4両編成のみになっていた。)

桃園駅の伊勢中川方面のホームの近鉄名古屋側には一人だけ撮り鉄がいた。この駅での撮影は、上本町側の車両の向きが太陽光線の角度と合う事で決めた。あと対向列車と被らないようにするため反対側のホームからの撮影は出発前から対象とはしていなかった。ちなみに、今、反対側のホームから撮影だと側面に太陽光が入らない形の逆光になる。

(午前中、しかも朝方なので、反対側のホームからの撮影は列車が東へ向かっていないとダメだが、近鉄名古屋線にはそのようなところはない。)

お目当ての12200系がやって来るまでの間に近鉄名古屋行きの「ひのとり」と「アーバンライナー」が通過する。8時19分にお目当ての12200系が通過。動画撮影をした。今まで走行中の列車撮影(動画は未体験)は地元の駅でした位だったが、走行中の、特に高速走行中の列車撮影は自分には向いてないと思った。なにせ瞬間しか楽しめない。特定の車両の車内の様子などに興味のある自分としてはホームでの停車中の列車の撮影の方が良い。ついでに言えば列車に乗る方が良い。この時点で、これなら近鉄名古屋駅で動画を含めて撮影をすれば良かったと思いがっかり来てた。のちに動画を見返して見たがこの貸切の12200系はそんなに混んではいなかった。上本町駅ではこの逆方向の4両編成の貸切の12200系は急きょ当日券を売っていたそうだが、近鉄名古屋駅でも急きょ当日券を売って欲しかった。売っていたら多分購入していただろうな、きっと。

桃園8時25分発の松阪行き急行列車に乗車し8時29分に伊勢中川着。この急行列車は伊勢中川で

- ・ 8時30分発上本町からの五十鈴川行き急行列車に
- ・ 8時34分発京都行き特急列車ビスタカーに

連絡する。さらに

- ・ 8時32分発の上本町からの賢島行き特急列車が
- ・ 8時33分発の近鉄名古屋行き特急列車ビスタカー

に連絡するのを見とれていたら、伊勢中川8時33分発の普通賢島行きに乗り遅れるところだった。慌てて地下通路を走り普通賢島行きの人になる。実際には8時32分発の賢島行き特急列車が出発しないと自分が乗車予定の普通列車は出発できないが。

乗車した賢島行き普通列車は松阪に8時42分到着。これで残っていた、伊勢中川から松阪の間の全ての駅に停まる列車に乗車できた。近鉄名古屋から賢島、伊勢中川から大和八木、は全ての停車駅で停車した事になる。

松阪では折り返して上本町方面に向かう。伊勢中川までは松阪8時51分発の近鉄名古屋行き急行列車（自分が桃園から乗車した松阪行き急行列車の折り返し）に乗っても結局は松阪8時56分発の上本町行き急行列車に乗る事になる。松阪始発の近鉄名古屋（8時51分発）行きに伊勢中川までの乗れば良かった。どうせ駅にいるなら松阪駅よりは伊勢中川駅でしょう。どちらに乗っても松阪から伊勢中川までの間で宇治山田方向の2本の特急列車とすれ違う。対象は近鉄名古屋（7時50分発）からの宇治山田行き特急列車と京都からの鳥羽行き特急列車ビスタカー（平日は運休）だ。

松阪8時56分発の上本町行き急行列車に乗車した。松阪出発時点では鉄は目立たなかったが、伊勢中川では先頭車両の運転席側に鉄が集まってきた。と言う自分もそのうちの1人だが。次の停車駅である榊原温泉口で下車する鉄もいる。

乗車した上本町行き急行列車は東青山に9時19分に到着。この急行列車は東青山で特急列車を2本退避する。ここでも鉄が下車した。既に鉄もいて上本町方面のホームの上本町側の場所取り？だ。2本の特急の動画を撮影したら、直ぐに9時26分に上本町行き急行列車が出発。あ、乗るの忘れたわ。ま、この先は具体性もなく吉野方面へ行くだけだし、吉野では絶対的に何かをするが無いから焦る事もないし、だいたい吉野ではどこの駅で降りるかもよく分かっていないし。。。よくよく考えたら上本町から来る12200系の貸切列車がここで見れるのではないか？念のためネットでも上本町発の時刻を調べたら、ここ東青山駅で少しは待つ（と言っても名阪乙特急の所要時間の半分の1時間強）が間違いなくここを通過する。ここは線路が東西に

真っ直ぐで太陽光線の具合も良い。上本町側から伊勢中川方面に向かう列車には綺麗に太陽光線が入る。その状態の撮影をするには上本町方面のホームで待つ事になる。よって伊勢中川方面の通過線側に入線する12200系の貸切列車が上本町方面の通過線に入線する列車と被らない事だけが気になる。ここで12200系の貸切列車を待つ事にした。

47年前に1974年10月に旧西青山駅へ1時間滞在した方と同じ気持ちだ。

(「近鉄西青山にて」で検索すると出てきます。)

一体、何本の多彩な特急列車が通過するのか。平日でなく土曜日なので阪伊特急もフル運行みたいだ。つい1ヶ月半前の9月3日に西青山駅で1時間ほど滞在した時は平日かつ昼間の時間帯だったので今日ほどは多くなかった。繰り返しになるが、阪伊特急の運休が無い事、正午前後の頃と異なり多少朝方に近いせいかな本数も多い様子だ事、から何本もの特急列車が伊勢中川方面(近鉄名古屋行きは中川短絡線を通るが、伊勢中川駅構内通過の扱いであることから、伊勢中川方面という表記には近鉄名古屋方面も含む)へ、上本町方面へ、と向かう。通過する特急列車の駅通過前後の動きのパターン(伊勢中川方面も上本町方面もどちらも通過線の信号は通常レッドであり、列車が通る時だけの僅かな時間がグリーンになる。通過線の信号が変わった時点で動画撮影を始めれば間に合う)は分かったのであとはホームの、通過線の、出発信号をしっかりと見て12200系の貸切列車が来るのを待つだけ。通過する特急列車の動画を何本も撮影したが、自分の前にいる中学生位と小学生位の2人の男性がかなりホームの線路側にいて撮影しており、自分もホームのギリギリまで行ってしまった。お、危ない危ない。それにしても近鉄はおおらかだ。以前、小田急線で、下り緩行線側のホームで少し線路寄りに立っていたら、ホームが無い下り急行線を通過する列車から警笛を受けた事があった。あと、遠目なので自信がないが、上本町方面のホームの先端(上本町側)で待避線側に落ちた人がいて周りの人々が引き揚げていた。あとは撮影、正確には動画だが、対向の形になるので、12200系の貸切列車が上本町方面行きの列車と被らない事を祈るだけだ。

10時43分の伊勢中川方面の普通列車が待避線から出発したら、10時45分に伊勢中川方面待避線側ホームに列車が入る警報が鳴った。え、何か列車が来るのか？普通列車が出発したばかりで普通列車が来るは考えられないが。上本町側の新青山トンネルの方をよ〜く見ると上本町側から12200系の貸切列車がやって来る。え、通過ではないんか。これは予想外だった。しかも当初の、自分が予想した到着時刻(10時25分頃)よりは過ぎているが、いつ来るのかも予想できないでいた状況だった。

直ぐに動画を撮影し始めた。退避線に入って来たのは12200系の39番編成だった。個人的な思いからこれが34番編成ならもっと嬉しかったが、ま、それは言っても仕方ない。これで今朝方近鉄名古屋駅を出発した12200系の貸切列車は上本町側から51番編成と34番編成である事が分かった。39番編成がホームに停車したら動画撮影をやめて地下道をダッシュし伊勢中川方面のホームへ移動。お陰で39番編成の停車中の撮影ができた。数カット撮影した後、動画撮影を開始する。12200系の貸切列車の出発の瞬間に間に合った。この12200系の貸切列車の東青山駅停車時間は僅かだった。これで結構と言うか一気にテンションが上がった。桃園駅での少し暗いムードというか心理だったが一気に吹っ飛んだ。今日は東青山駅に来てホントに良かった。プラス東青山駅で撮影するという自分の判断が間違っていなかった事も良かった。さらに、12200系の貸切列車が東青山駅前後を通る時、太陽光線も程よく曇り空にならなかつた事も良かった。あ、追加すると桃園駅が悪かった訳では決してない。桃園駅は午前中だと近鉄名古屋方面行きの列車を後追い撮影するのに良い場所だと思った。

東青山駅で唯一ガッカリ来たのがトイレだった。汲み取り式は、ま、許せるとして、手洗いの水が止まっていた。仕方ないので12200系の貸切列車を待つ間に、太陽が出ている間は極力手を太陽光線に当てて殺菌消毒？する。

少し小走りで総谷トンネルへ向かう。次の上本町方面の列車までの間少しだけ時間があったので、前から行きたかった総谷トンネルへ。先程撮影した12200系と大いに関係がある場所だ。ちょうど50年前の出来事（1971年10月25日）になる。トンネルに向かって手を合わせ、東青山駅へは歩いて戻る。上本町方面の列車に乗るにはまだ余裕はある。

東青山11時07分発の上本町行き急行列車が待避している間に難波行きの「ひのとり」が通過。この動画撮影をして東青山駅を離れる。それにしても停車中の列車（12200系）を撮影できたのがこんなに嬉しかったとは。しかも太陽が指して良い感じで車両に陽が当たった。この上本町行き急行列車は名張で特急列車に抜かれる。特急に乗り換える事はしなかった。行き当たりばったりの吉野へ行くだけなので焦る必要も無いし。

大和八木には12時12分着。階段を降りて橿原線に乗り換える。大和八木12時20分発の橿原神宮前行きに乗車。名張から乗車したと仮定した場合の特急列車が大



和八木駅で連絡するかもの特急列車は大和八木 12 時 00 分発だったから名張から特急列車に乗っても怪しいなと思った。

(自宅で調べたところ、実際には、タッチの差で乗り継ぎができない。連絡の特急券を購入しても橿原神宮前駅到着がかえって遅くなる。)

12 時 25 分に橿原神宮前に到着し、吉野線の 12 時 30 分発の吉野行きに乗車。壱阪山から先は初めて乗る区間だ。と言っても吉野線で乗車した事があるのは橿原神宮前から壱阪山だけだが。吉野口では和歌山線の和歌山方面の列車とほぼ同時に出発した。

(よく覚えていないが自宅で調べたところ近鉄も JR も 12 時 48 分発) 薬水駅は高台から和歌山線を望める駅であり、ここで近鉄吉野線と和歌山線は少し寄り添う。ちょうど和歌山行きの 2 両編成の普通列車を見れた。

昔和歌山線に乗車したのだが、吉野口で近鉄の乗り換えができる事、北宇智駅でスイッチバックを体験し、お弁当を食べた事(少しトイレの匂いが周りに充満していたが)は覚えている。よく覚えていないが高田駅から和歌山線に乗車し北宇智で折り返したと思う。和歌山まで行った記憶は無いので。

福神駅で「青の交響曲」とすれ違う。ほぼ満員満席に見えた。夕方の「青の交響曲」は自分が吉野駅に到着した時点で、お昼過ぎの 13 時半前で、満席の案内が出た。

吉野山は初訪問だったが、4 時間弱の滞在でなかなか楽しめたと思う。橿原神宮前駅から吉野駅まで 1 時間弱であった事、大和八木を 18 時 40 分に出る特急列車に乗れば予約してある東海道新幹線に乗車し、東京の自宅に戻れる事、以上から 17 時までに駅に戻れば何とかかなるかなと思い、観光案内所にあった地図をもらって歩き始めた。中千本のハイキングコースを歩き、如意輪寺の後醍醐天皇のお墓を見て、吉野水分神社では下着姿の神主を見た。ここまではハイキングコースだったが、ここからは奥千本までは車道を歩く。高城山(展望台)は山麓側の、公衆トイレがある場所から往復したが、山頂から奥千本へ抜ける、しかもしっかりとした道があった。奥千本の金峯神社で御朱印をいただいた。吉野水分神社の御朱印は書き置きだったので尚更嬉しかった。御朱印も貰えたし今日は大満足。しかも神主は地図はお持ちですかと親切にも声をかけてくださった。

奥千本まで来れたしこの先は行けないので、吉野駅へ戻る事にした。ここまでは歩いて来る途中途中で吉野駅からの所要時間を計算し、帰り道の事を考えていた。ここから戻っても普通に行けば吉野駅には17時頃には戻れる。帰りは吉野山中千本バス操車場を経由しない車道で（経由しない方の両側にお寺があり）戻る。吉水神社は閉まる16時30分少し前に勝手神社を含む2箇所の御朱印をいただいた。どうも義経、静御前、後醍醐天皇、秀吉などなど吉野ゆかりの人も多いようだ。今まで知らなかっただけと言えればそれまでだ。後醍醐天皇と南朝絡みが吉野山と関連がある事は元々から知っていたが。吉野大峯ケーブルが見えたが出発までの待ち時間からお試しの意味も含めて乗車する事にした。片道の方が往復より単価が高いとはいえ、あの歩ける距離で450円だった。

（自宅に戻って調べたら事故の運休のあと値上げしたようだ。）

ロープウェイは昭和40年代のモノだろうか。サイズも小さく人独りが乗ると揺れる。なかなかできない体験だったし脚も少し疲れていたのもこれは良しとしますか。確か16時50分に出発した。

17時前後に吉野駅へ戻り17時07分発の阿部野橋行き急行列車に乗車する。大和上市でハイキング帰りの乗客が多数乗車した。少し眠かった六田駅で4分間の停車時間に17時14分発吉野行き急行列車、17分発吉野行き特急列車と交換する。急行列車に続いて交換した特急列車が16000系の4両編成だった。これが吉野駅から折り返してくるのか。吉野17時34分発の特急があることは覚えていた。ただ、折り返し時間が少ないな。六田駅の吉野側の車庫には特急車両は止まっていなかった。やはりこの列車が折り返してくるのだろう。単線でこの先は夜とか早朝でなければ折り返しは全て終点の吉野駅なので、折り返してやって来る特急列車は16000系に間違いはないと思った。

（自宅で改めて調べたら17時26分着17時34分発で吉野駅では8分間で折り返してくる）

これならちょうど時間的にもこの16000系の特急列車に乗って近鉄名古屋まで連続の特急券を買えるのではと思ったが、ネットでは橿原神宮前から近鉄名古屋の間の特急列車は「ひのとり」が強制的？にヒットする。ひのとりを使わない乗り換えの特急券は窓口でないと買えない。吉野線で大きそうな駅は吉野口駅位かなあと思ったら吉野口駅はなんとJR西日本の管理。他、飛鳥駅は特急券発売の窓口がない事は把握していた。確か壱阪山駅も特急券発売の窓口が無かった覚えが。。。せめて吉野線内の割安特急券を、ネットで買うと200円安いので、を使おうかと思ったら200円安くない、520円しか表示されない

(自宅で改めて近鉄特急の予約サイトを見たら決済するところで割引を適用するかの選択ができる)

悩んだ末に16000系の乗車は諦めて見物にシフトする。急行列車に乗っている間に16000系の特急列車は橿原神宮前に18時13分着であることが分かり、大和八木からは18時40分発の特急列車に乗れば良いので16000系の特急列車の見物はできる。

この吉野線内の割引特急券をネット購入して、さらに橿原神宮前駅の窓口で特急券を購入しだと、乗車する16000系が少し遅れていたため、橿原神宮前駅での晩ご飯の購入が時間的に怪しかった。大和八木駅でも晩ご飯を買えるがファミマの一択。橿原神宮前駅ではお寿司のお弁当を買えるのでできれば橿原神宮前駅で晩ご飯を買いたかった。結果としてはオーライで橿原神宮前駅の梅守本店橿原神宮店でお寿司を買えた

六田の次の特急列車停車駅である下市口なら窓口で特急券を買えることを自宅に戻ってから知った。その下市口前後は列車内でネットを見ていたので下車の判断が遅かった。まずはWikiで吉野線の大きめの駅を、特急券発売の窓口がある駅を探せば良かった。下市口で下車しここから連続の特急券を購入すれば良かったのだが、下市口前後を通過している時は、下車して連続の特急券を窓口で購入し、予定通りに動けるか自信が無かった。繰り返しになるが途中で下車した駅の窓口で特急券を買えるかも自信が無かった。今回のツアーは帰路の東海道新幹線の指定列車に乗り遅れても当日の自由席の列車には乗れる。予約してある新幹線(名古屋20時49分発)に乗れなくても問題はないのだが、過去の体験からほぼ1時間後の21時56分名古屋発「のぞみ号」でも自宅に帰れるのは分かってたが、何かあった場合に、東京に、自宅に帰れなくなる方が怖い。今乗車している列車を降りる勇気はなかった。

吉野口駅では対向の吉野行き列車に遅れが発生しており最終的に橿原神宮前には3分遅れて18時3分到着。まずは特急券の確保だ。最初に西口に行くが自動券売機のみ。中央口は窓口で二人並んでいたため一旦パスする。東口の自動券売機を操作する。この券売機で以前に、橿原神宮前から大和八木と伊勢中川の乗り換えで近鉄名古屋まで、座席も好みのを選べる形で特急券を購入できた。今回、橿原神宮前から大和八木乗り換えだと近鉄名古屋までは「ひのとり」がヒットする。大和八木だけでなく、伊勢中川でも乗り換えしたいのだ。再度中央の窓口はようやく人が並んでなくて、特急券を発券してもらった。喫煙車を希望されますかとの質問があり、禁煙でお願いした(正確には喫煙ルームがある車両を希望されますかだが)

特急券を発券してもらった、購入したあと、慌てて南大阪線のホームへ向かう。遅れが発生したおかげで16000系（阿部野橋行き4708特急列車）の見物に間に合った。4両固定編成だったので8番編成だ。1974年製造だった。16000系は座席は交換されていた模様だ。だが、自宅に戻ってから調べたが座席に収容されているテーブルを改修しただけだった。あとモケットの交換はしているだろう。リクライニングの機構はそのままだ。16000系を見物したあと、橿原神宮前駅の手鞠寿しのお店でちらし寿司と握り寿司をセールで購入した。これとビールを組み合わせで晩ご飯とする。

今回唯一の「近鉄特急ガチャ」である18時26分発の京都行き1818特急列車に橿原神宮前から大和八木まで乗車する。京都側の22000系の2両編成で先頭の4号車が当たった。橿原神宮前を出たら直ぐに大和八木到着のアナウンスが流れる。暫くしてからでも間に合ったので再度座って到着を待った。実際の乗車時間はわずか3分間。

大和八木からは18時40分発の宇治山田行き1803特急列車ビスタカーに乗車。これは事前に把握済み。ただし上本町側に2両編成が連結されており名張で切り離れた。切り離れた2両編成が22000系か22600系かのどちらかは覚えがない、当時、確認したはずなのに。ま、乗車できないし気にしない事にしよう。ビスタカーは今回で3回目（正確には30年近く前の乗車を含めると4回目）だが、全てこの大和八木からの阪伊乙特急で乗車している。1番編成のみ座席を交換していないらしい。最近の乗車は全て1番編成以外で今回は30年近く前ぶりの2階席になった。椅子の背面に付いているテーブルの印刷が薄くなったかなの印象と床が意外にも特に暖房のコーナーが汚れていた。昨年10月4日に乗車した12200系の34番編成は車内の写真を結構撮ったので比較すると12200系の方が床は綺麗だった。乗換駅である伊勢中川まで54分間の乗車があり、ここで晩ご飯をいただく。

伊勢中川では乗り換えの僅かな時間にビールとパンを購入した。

伊勢中川からは19時37分発の近鉄名古屋行き7814特急列車に乗車。12600系・サニーカーの4両編成である事を前日に確認済みだったが、22600系の2両編成が伊勢側に増結されていた。それとも6両編成だったが12600系・サニーカーが連結されているのを見逃したのかも。

（後日、自宅でメモした当日の乗車列車の検討内容を見たら12600系・サニーカーの4両編成に2両編成が伊勢側に増結されている6両編成だった。）

6両編成なのである意味、半分の「近鉄特急ガチャ」だ。幸いにも橿原神宮前駅の窓口氏は自分が乗りたい12600系の席を割り当ててくれた。12600系は1番編成が来た。富吉検車区にはスナックカーが止まっていた。暗闇のせいか何両編成かも分からない。

7814 特急列車は近鉄名古屋に20時38分に到着。5番線からの20時45分発の松阪行き特急列車は伊勢側からサニーカー・ビスタカーの順の8両編成だった。今までの、9月に3回来た時は全て平日だった。この20時45分発の松阪行き特急列車は平日なら4両編成だったが今日は土曜日、8両編成。駅構内の時計が僅か遅れていた様で発車間際のウェストミンスターのチャイムの動画撮影は逃したが伊勢志摩方面のメロディであるアラウンド・ザ・ワールドは間に合いしかも肉声の構内案内放送と被らなかった。自分が乗車した12600系・サニーカーの正面を撮影したあと、改札内の、構内の、ファミマに寄ったら赤福がある！乗り換え駅である、橿原神宮前駅、大和八木駅、伊勢中川駅で売り切れだった。最後の一箱だったが購入して連絡改札口から小走りで新幹線ホームへ向かう。

(帰宅してから思い出したが、名古屋到着時は東海道新幹線から在来線への連絡通路は手持ちの、ツアーでの乗車券・特急券では通れないかと思っていたが、近鉄名古屋出発時はツアーの乗車券・特急券でもこの連絡改札口の自動改札機は通る事ができた。当時、連絡改札口は通過できないとの疑いも無く？通ってしまった。)

乗車する東海道・山陽新幹線は「のぞみ252号・東京行き」だ。新幹線ホームの階段を上ったらまもなく20時49分、出発の案内放送が。走ったよ！ホントにギリギリに12号車に乗車。指定席の4号車まで移動する。サニーカーの車番を撮影していたら完全にアウトだった。ま、乗り遅れても次の新幹線列車の自由席に乗れる。

座席の指定はもともと3人掛けの通路側(C)だった。既に窓側(A)と真ん中(B)の席に中年女性が座っていたが、何と通路を隔てたふた席(DとE)には誰も座っていない。何とラッキーな。8両分、すなわち200mも移動してきたからか、他のお客さんは既に着席している。もう誰も座らないだろう。自分の後ろのふた席(DとE)はお一人でしかも窓側(E)に座っている。迷わずに通路側のD席に座った。しかも次の停車駅である新横浜までが最混雑区間で、ここさえクリアすれば良い訳だから、繰り返しになるが、もうこの席には誰も座らないだろう。こちらのふた席が空いているし、こちらに座りますとお二人の中年女性に声掛けたら喜んでくれた。

浜松あたりだろうか、かなり眠かった様子でマスクをせずに寝てしまった。小田原

駅通過の案内で目が覚める。新横浜でお二人の中年女性が下車した時にお礼を言われたけど、むしろお礼したいのは、助かったのは、自分だったと思う。心温まる出来事だった。東京駅で下車したら同じ車両に近鉄特急の近鉄名古屋行き 7814 列車で確かだが桑名からの乗客が乗っていた。同じルートだったか。東京駅では東海道新幹線の改札を出て一度、外に出て新宿までの乗車券を購入する。あとは自宅まで混んだ列車に乗って帰宅するだけだ。

今回も大満足だった。今までの近鉄方面の旅行で残念だったのは

- ・ 2020 年 10 月 17 日（土）終日雨だった。
  - ・ 2021 年 2 月 9 日（火）大和西大寺駅で特急券をもっているか尋ねられた。
- の 2 回かな。前者は天候なのでまだしも後者はこの歳で不正乗車の疑いをかけられるかと、、、なんと言って良いやら。

以上